

★ つぎの文しようを読んで、後のもんだいに答えましよう。

わたしたちは、毎日の生活の中で、たくさんのごみを出します。また、ごみにも、もやせるごみやもやせないごみ、かんやペットボトルなどのようにしげんとなるしげんごみなど、さまざまなしゆるいがあります。

今、わたしたちのまわりでは、ごみを少しでもへらそうと、さまざまにな取り組みが行われています。

たとえば、買い物ものをしたときにふくろをもらわなかったり、使えるものはすてずに何回も使ったり、<sup>2</sup>ごみをきちんとしゆるいべつに分けたりすることです。これだけでも、ごみをへらすことができるのです。

大切なのは、わたしたちひとりひとりが、ごみのことをしんけんに考え、へらすためにできることから始めることなのです。

(中林英純「くらしとごみ」より)

1 線「さまざまにな取り組み」について、①、②のもんだいに答えましよう。

① 何のための取り組みですか。六字で書きましよう。


ための取り組み。

② 取り組みの内ようをつぎのようによまめました。□に当てはまることばを、十字までで書きましよう。

・買い物をしたときふくろをもらわな  
い。  
・使えるものは □。  
・ごみをきちんとしゆるいべつに分ける。


2 線「ごみをきちんとしゆるいべつに分けたりする」とありますが、ごみのしゆるいを、文しよう中から三つ書きぬきましよう。


3 ごみをへらすために大切なこととして、  
・**当**ては**ま**ら**な**い**も**の**を**、**ア**く**ウ**から**一**つ  
えら**ん**で、**記**号に○をつけましよう。

アごみのことをしんけんに考えること  
イいつもきれいで新しいものを使うこと  
ウますぐできることから始めること